

第 50 回資金管理業務諮問委員会 議事録(確報)

1. 日時:平成 25 年 3 月 6 日(水)13 時 00 分～15 時 00 分
2. 場所:公益財団法人自動車リサイクル促進センター 第1・第2会議室
3. 出席者:永田委員長、鬼沢委員、小島委員、辰巳委員、米澤委員
以上 5 名出席
その他 公益財団法人自動車リサイクル促進センター事務局(議案説明者を含む)、経済産業省・環境省担当官が出席
4. 議題:①平成 25 年度事業計画書(案)、平成 25 年度収支予算書(案)及び平成 25 年度特定再資源化預託金等の出えん等について
②平成 25 年度再資源化預託金等運用計画(案)について
③平成 24 年度第 3 四半期(4 月～12 月)決算報告について
④平成 24 年度第 3 四半期の運用の評価について
⑤平成 25 年度の資金管理料金特別会計における資金の運用について
⑥内部監査の結果について

5. 議事録

(1) 議題①について

平成25年度事業計画書(案)、平成25年度収支予算書(案)及び平成25年度特定再資源化預託金等の出えん等について、事務局から、資料3-1から資料3-12にて説明し、案のとおり承認された。

委員からは次の意見があった。

<意見>

【委員】

資料3-4の別添2の予算書イメージ図の中に、金額の小さい経過利息があるが、記載する必要あるのか。

【事務局】

相対的に金額は小さいが、予算を構成する要素としては、記載すべきであると考えている。

【委員】

このイメージ図の数字が資料3-4の予算説明書のどこの数字に対応するかをわかるようにしてほしい。

【事務局】

承知した。

【委員】

予算書のイメージ図や決算書のイメージ図を諮問委員会資料とは別にホームページの分かりやすいところから見られるようにできないか。

【事務局】

検討する。

【委員】

資料3-5の別紙に特定再資源化預託金等の残高が記載されている。その中で、出えん等に関しても年度別、品目別に記載しているが、資料作成に要する工数は過大でないか。

【事務局】

通常の管理を反映したもので、特別な工数はかけていない。

【委員】

資料3-7のその他の事業費のように、他の費用と比べ金額が大きいものや予算と実績の乖離が大きいものについては、その内訳を毎年度でなくて構わないが、ある程度定期的に説明して欲しい。

【事務局】

承知した。

(2) 議題②について

平成25年度再資源化預託金等運用計画(案)について、事務局から資料4-1及び資料4-2にて説明し、案のとおり承認された。

委員からは次の意見があった。

<意見>

【委員】

資料4-1の流動性確保のところ、経験則から20億円にすることだが、足りなくなった場合の対応策はどのようなものを予定しているのか。

【事務局】

現状、預託金の収入と払渡及び輸出返還の支出は概ね均衡している。不確定要素の多い輸出返還支出が倍増したとしても、資金繰りが耐えうる20億円を平成25年度の流動性確保額としている。また、保有台数が急減するような事態においても、会計上問題ないと考えられる償還まで短期の国債を売却するような手段を検討している。

(3) 議題③について

平成24年度第3四半期(4月～12月)決算報告について、事務局から資料5-1から資料5-7にて説明し、案のとおり承認された。

委員からは次の意見があった。

<意見>

【委員】

資料5-5の理解普及活動費の進捗率が低いが、今後の見通しはどうか。

【事務局】

第4四半期に発生するものを加えると年度では90%程度の進捗率となる見込みである。

(4)議題④について

平成24年度第3四半期の運用の評価について、事務局から資料6-1から資料6-3にて説明し、案のとおり承認された。

委員からは次の意見があった。

<意見>

【委員】

資料6-3の証券会社評価についての対応は妥当であると考える。

【委員】

証券会社の行政処分に関する情報はどのように入手しているのか。

【事務局】

当該証券会社から報告があることに加え、情報配信会社から重要な情報を即座に入手している。

(5)議題⑤について

平成25年度の資金管理料金特別会計における資金の運用について、事務局から資料7にて説明し、案のとおり承認された。

(6)議題⑥について

内部監査の結果について、事務局から資料8-1及び資料8-2にて報告した。

以上